小学校

小学校5年生の通常の学級担任の先生用

通常の学級において“要支援児”が学級に「なじむ」ための要件に関する調査

この度は調査へのご協力ありがとうございます。この調査では，インクルーシブ教育に焦点を当て，通常学級に在籍する特別な教育的支援が必要な児童が，どのように学級に「なじんでいる」かについてお伺いします。本調査は統計処理をするため，学校名や個人が特定・公表されることは一切ありません。また，結果につきましても，学術的な目的以外に使用いたしません。それぞれの質問をよく読み，該当する記号に○印，または空欄に必要事項を記入してお答えください。 東京学芸大学・橋本創一

インクルーシブ教育は，「障害の有無に関わらず，すべての子どもを包括する教育」とされ，児童一人一人が学級に「**※なじんでいる**」ことこそがインクルーシブ教育において最も重要であると考えられます。そこで，本調査では，支援が必要な児童（「要支援児」とする）がどのように通常学級に「**※なじんでいる**」かをお聞きします。

本調査で言う「**※なじむ**」の定義は，『個人が特定の環境に慣れて違和感を持たなくなること，ここに居場所があると感じ，ありのままの姿でいられること』です。第三者が客観的に見たときに，先生や周りの児童（「周囲児」とする）に迷惑をかけていないと判断できる状態だけではなく，「**※なじむ**」は，先生や周囲児と相互的な関わりがあり，学級内で受け入れられている状態にあります。また，要支援児が学級内で受け入れられていることにより，学級に居場所があると感じている状態です。

そのため，本調査では，ご回答される先生が担当している学級の中から，学級に「**なじんでいる**」要支援児（具体的には，学級の中で要支援児とクラスメートの間に自主的な関わり合いがあり，学級に自分の居場所があると感じているだろう要支援児）を **1 人選んで**いただき，その児童や周囲児などについてお聞きします。

---

1. 担任する学級に「なじんでいる」と判断できる要支援児はいますか。

①いる〔　　名〕　②いない　③その他（　　）

↓　↓

★「②いない」「③その他」と答えた方は，担任学級の中から「なじんでいない」要支援児を 1 人選んでいただき，以下の質問にお答えください。

【Ⅰ．要支援児（A さん）<1 人を選んで>についてお聞きします。】

2. 要支援児（A さん）の性別を教えてください。

① 男　②女　③その他（　　）

3. 要支援児（A さん）はどの側面で困難がありますか。（複数回答可）

①学習面　②行動・情緒面　③対人関係面　④運動面　⑤その他（　　）

4. 要支援児（A さん）は診断されていますか。

①はい　②いいえ　③その他（　　）

↓

5.〈4 で「①はい」と答えた方のみ〉診断名を具体的に教えてください。（複数回答可）

①自閉スペクトラム症　②注意欠如・多動症　③学習障害　④知的障害　⑤その他（　　）

6. 要支援児（A さん）は自身の特性（障害や行動・性格など）を理解していると思いますか。

①よく当てはまる　②やや当てはまる　③どちらでもない

④あまり当てはまらない　⑤全く当てはまらない

7. **要支援児（A さん）**はクラスメートに援助要請をしていますか。（例”手助けを頼むなど）
①よくしている　②たまにしている　③どちらでもない
④ほとんどしていない　⑤全くしていない

8.〈7. で「①よくしている」または「②たまにしている」と答えた方のみ〉
要支援児（A さん）が援助を要請するクラスメートは誰ですか。
①1 人の決まったクラスメート　②複数の決まったクラスメート
③その時近くにいるクラスメート　④誰にでも
⑤その他（　　）

9. **要支援児（A さん）**が現在担当している係活動や委員会（役割）を教えてください。

10. **要支援児（A さん）**がその係や委員になった経緯（決め方）を教えてください。
①児童本人が希望　②先生がすすめた
③友人がすすめた（推薦した）　④輪番制やくじ引きなど
⑤その他（　　）

11. **要支援児（A さん）**が学級に「**なじんでいる**」と感じた，または「**なじんでいない**」と感じた学校生活での具体的なエピソードを教えてください。

【II　次に，**周囲児（その他のクラスメート全員）**についてお聞きします。】

12. **周囲児**は要支援児（A さん）の特性（障害や行動・性格など）を理解していると思いますか。
①よく当てはまる　②やや当てはまる　③どちらでもない
④あまり当てはまらない　⑤全く当てはまらない

13. **周囲児**は要支援児（A さん）に対して自主的に援助提供を行っていますか。
①よく行っている　②たまに行っている　③どちらでもない
④ほとんど行っていない　⑤全く行っていない

14.〈13 で「①よく行っている」「②たまに行っている」と答えた方のみ〉
具体的にどのような援助提供を行っていますか。

【Ⅲ　次に，**要支援児（A さん）の保護者**についてお聞きします。】

15. **要支援児（A さん）の親子関係**は良好であると思いますか。
①よく当てはまる　②やや当てはまる　③どちらでもない
④あまり当てはまらない　⑤全く当てはまらない

16. **要支援児（A さん）の保護者**はわが子の特性（障害や行動・性格など）を理解していると思いますか。
①よく当てはまる　②やや当てはまる　③どちらでもない
④あまり当てはまらない　⑤全く当てはまらない

17. **要支援児（A さん）の保護者と学校（担任の先生）**は密に連絡を取っていますか。
①よく当てはまる　②やや当てはまる　③どちらでもない
④あまり当てはまらない　⑤全く当てはまらない

18. **要支援児（A さん）の保護者**が周囲児に対して，わが子の特性（障害や行動・性格など）への理解や援助提供を求めるような発信をしたことはありますか。
①はい　②いいえ　③その他（　　）
↓
19. 〈18 で「①はい」と答えた方のみ〉保護者は具体的にどのようなことを行いましたか。

【Ⅳ　最後に，ご回答いただいた**担任の先生**についてお聞きします。】

20. **あなた**の教職年数を教えてください。　（＿＿＿年）

21. **あなた**は要支援児（A さん）の特性（障害や行動・性格など）を理解していると思いますか。
①よく当てはまる　②やや当てはまる　③どちらでもない
④あまり当てはまらない　⑤全く当てはまらない

22. **あなた**が行っている要支援児（A さん）に対する支援について具体的に教えてください。

23. **あなた**は周囲児に対して，要支援児（A さん）に関する説明を行いましたか。
①はい　②いいえ　③その他（　　）
↓
24. 〈23 で「①はい」と答えた方のみ〉　具体的にどのような説明を行いましたか。

25. **あなた**が学級経営で最も重視していることを具体的に教えてください。

26. **あなた**は要支援児（A さんに限らず）が学級に「なじむ」ためには何が重要であると思いますか。

27. すべての児童が同じ教室で学ぶことは，社会的公正・公平の観点から必要だと感じていますか。
①とても思う　②やや思う　③どちらでもない
④あまり思わない　⑤全く思わない

28. すべての児童が同じ教室で学ぶ場合，すべての子どもに適切な配慮をすることは難しいと感じていますか。
①とても思う　②やや思う　③どちらでもない
④あまり思わない　⑤全く思わない

29. インクルーシブ教育システムの構築にあたり，学級内において，あなたが取り組んでいることを教えてください。（複数回答可）
①誰にでもわかりやすい授業づくり　②子ども一人一人のアセスメント
③個別の指導計画に基づく指導　④互いの違いを認め合い尊重し合う学級づくり
⑤本人・保護者と相談した上での合理的配慮の提供
⑥教室内の基礎的環境整備（椅子の脚にテニスボールを付ける，教室の掲示物の工夫等）
⑦保護者との連携　⑧ティーム・ティーチング（TT）の運用
⑨同じ学年を担任する教諭，特別支援コーディネーター，養護教諭，管理職等との連携
⑩その他（　　）

30. インクルーシブ教育を推進するために，あなたが今後受けてみたい研修内容にはどのようなものがありますか。（複数回答可）
①インクルーシブ教育の理念・概念　②多様な子どもを含む学級経営の方法
③障害等の多様な子どもたちの基礎的知識・指導方法　④校内支援体制の充実方法
⑤保護者の理解促進・連携方法　⑥その他（　　）

31. あなたが，同僚の新規採用教員に対して，インクルーシブ教育推進のために学ぶべきものを助言するとしたら，どのような内容を挙げますか（自身が新採の場合はしてもらいたい助言について）。（複数回答可）
①インクルーシブ教育の理念・概念　②多様な子どもを含む学級経営の方法
③障害等の多様な子どもたちの基礎的知識・指導方法　④校内支援体制の充実方法
⑤保護者の理解促進・連携方法　⑥その他（　　）

アンケート項目は以上です。

お忙しい中，最後までご協力を頂き，本当にありがとうございました。